

なら

2021.3 vol.15

産業 Industry Journal of Nara ジャーナル

東大寺大仏建立にも関わった老舗企業
新社長は民生品生産などの
新事業にも取り組む

五位堂工業株式会社

代表取締役 津田家仁氏

公益財団法人 奈良県地域産業振興センター

INDEX

2 寄稿
組合支援を通じて、中小企業等の成長・発展を目指す
奈良県中小企業団体中央会会長 佐藤 進 氏

4 巻頭特集
**東大寺大仏建立にも関わった老舗企業
新社長は民生品生産などの
新事業にも取り組む**
五位堂工業株式会社 代表取締役 津田 家仁 氏

8 この企業に、技あり!
**「令和の掘立柱工法」で
木造建築に新たな風を**
株式会社瀧川寺社建築 代表取締役 瀧川 伸 氏

10 会社訪問記(ブランドづくり)
**「奈良の風土をワインで表現したい」
県内初のワイナリー設立を目指す**
木谷ワイン 代表 木谷 一登 氏

12 INFORMATION

後継者にスムーズなバトンタッチを実現する為に
事業承継の支援企業が増加しています

支援事例のご紹介
奈良県よろず支援拠点

新型コロナウイルス感染症対策における
県内中小企業の取組事例紹介
ガラス彫刻工房ONO(株式会社C's) 尾野 貴昭 氏

設備投資の公的サポート
設備貸与制度

訪問余録



(写真中央が津田社長)

老舗鋳物メーカー社長の多様な趣味

奈良時代、東大寺大仏建立にも関わったという鋳物製造会社・五位堂工業株式会社の津田家仁社長の趣味は、ヴァイオリン。実は子どものころからピアノをたしなむ音楽家で、大学生の頃は、サークル活動としてオーケストラにも所属していました。ヴァイオリンを始めたのもそのころです。今も音楽教室に通い、例年1月に香芝市の「ふたかみ文化センター」で開催される発表会などで、その腕前を披露しています。



奈良県立大学を卒業。昭和39年4月に佐藤薬品工業株式会社に入社後、平成14年6月に代表取締役社長に就任。令和2年5月に奈良県製薬協同組合理事長に就任。令和2年6月に奈良県中小企業団体中央会会長に就任。

奈良県中小企業団体中央会会長 佐藤 進 氏

奈良県中小企業団体中央会(以下「中央会」)は、中小企業等協同組合法により都道府県ごとに設置された支援機関で、中小企業組合等(以下「組合」)の運営や活動への支援を通じて、中小企業・小規模事業者(以下「中小企業等」)の成長と持続的発展を支援する団体です。

また、組合は、中小企業・小規模事業者が個々の努力では解決あるいは対応できない課題に対して、相互扶助の精神に基づき共同して事業を行うことにより、経営上の諸課題に対応し経営基盤の強化や経済的地位の改善・向上を図ることを目的とする組織です。

中央会が組合を対象に支援することは、例えば、個社単位では支援等を受けられない小規模事業者であっても、共同事業など組合活動を通して支援等を受けていただくことができるという観点から、より広く・きめ細やかな中小企業等への支援につながるものと認識しています。

さて、我が国の経済情勢は、新型コロナウイルスの影響による景気的大幅な落ち込み、インバウンド需要の減少、世界経済の下振れを背景とした輸出の減少等々、厳しい状況とされています。

こうした中、中央会では昨年10月中旬に「新型コロナウイルスに伴う状況等調査」を実施したところ、企業活動への影響について「大

きな影響あり」・「影響が出始めている」とした組合が約9割を占めており、また、業界を問わず大半の組合が「厳しい状況が続いており、先行きも見通せず、今後更なる収益減等の影響拡大・悪化を懸念している」としており、新型コロナウイルスの収束が見通せない中、多くの中小企業等は大変厳しい状況に置かれています。

中小企業等が現下の「コロナ禍」の困難等を乗り越えるためには、「ウィズコロナへの対応」といったことを含め多様な経営課題がありますが、中央会では、自らの持ち味である組合など連携組織による「つながる力」を大いに発揮し、組合活動に対する支援を中心とした中小企業連携組織対策事業をはじめ、ものづくり・商業・サービス生産性向上支援補助金、雇用・人材確保支援プロジェクトなど様々な事業を積極的に実施してまいります。

そして、中小企業等が協同して足らざる経営資源を補完・補強し合えるよう、引き続き「顔の見える中央会」を目指し、組合等に寄り添った「伴走型のきめ細かな指導・支援」を基本に据え、国・県・全国中央会・関係機関の皆様との連携を一層深めるとともに、役職員一同研鑽に努めつつ、より強力に諸事業・活動に取り組んでまいりますので、今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合支援を通じて、
中小企業等の成長・発展を目指す

東大寺大仏建立にも関わった老舗企業 新社長は民生品生産などの 新事業にも取り組む



五位堂工業株式会社
代表取締役

津田家仁氏

香芝市五位堂に本社を構える鑄物製造会社・五位堂工業株式会社。会社を経営する津田家は代々鑄物師として活躍した一族で、その歴史は奈良時代の東大寺大仏建立にまでさかのぼります。現在は船舶用エンジン部品などの工業製品を中心に生産しており、その確かな技術は、国内外から高い評価を得ています。今回は、今年2月に社長職を譲られた津田家宏相談役と、津田家仁新社長に、お話を伺いました。

1300年近く続く老舗企業
長く事業を継承する秘訣とは

神田 御社の歴史は天平17年(745)に始まった東大寺大仏建立までさかのぼるといことですから、実に1270年以上も続く、老舗

企業です。まずは、今日まで連続と受け継がれた歴史について、お聞かせください。

津田社長 弊社に奈良時代の記録が残っているわけではないのですが、江戸時代の全国の鑄物師を調べた書物に、当家を含めた五位堂村の鑄物師の記述があり、「右の者は、東大寺大仏建立に関わった」とあります。昔、鑄物師は公的な身分でもありませんでしたから、このような書物も残されていなかったのでしょう。ほかに、京都方広寺の「国家安康」の大鐘の鑄造に関わったことや、県内外のお寺に梵鐘などを納めたという記録も残っています。

ただ、鑄物師は当家の家業として続けてきたことで、五位堂工業株式会社の名称は、昭和37年(1962)からです。

神田 代々守ってこられた家訓や教えなどもあるのでしょうか

津田相談役 家訓というほどのものはありませんが、親からは、「どんな仕事にも栄枯盛衰はあるのだから、地道にコツコツと努力して、続けていかなければならない」と教えられました。

津田社長 「地道にコツコツ」と言う当たり前のようですが、勝つか負けるかわからない一発勝負ねらいでは、長くは続かないということでしょう。私は、非常に理にかなった教えだと思っています。

神田 「地道にコツコツ」というのは、どんな仕事でも大切なことです。長く続く秘訣はそこにあるということですね。

津田相談役 それともうひとつ、「チャンスは等分に与えられる」のでチャンスを生かせるようなポジショニングにすることが大切です。新しい事を取り入れていける対応力をつけて、時代とともに変化をお客様のニーズに合わせて、我々も常に変わっていくことです。例えば、加工しやすい製品の鑄造では、コストの低い、海外での鑄造の需要もあります。私どもは90年代初めから中国の企業と協力し、海外調達を行ってきました。技術者を派遣し、ノウハウも可能な限り提供し、私も毎月のように足を運んでいました。2001年に合弁会社も設立しました。合弁は2013年に解消しましたが、その工場との取引は今も続いています。

津田社長 90年代初めというと、私はまだ小さかったのですが、父が毎月のように中国に

行っていたのは覚えています。

今こそ海外生産は当たり前ですが、当時は当社の規模でそこまでの会社は少なかったですから、かなり先進的な取り組みだったと思います。

神田 30年以上も、同じ海外の会社との関係が続いているというのも、珍しいように思います。

津田相談役 そこは、信頼関係をしっかりと構築できているからだと思っています。

我々の仕事はどうしても受注生産になりますから、取引先の景気が悪いと、仕事量は減ってしまいます。例えばそういう時に、外注していた仕事を社内に引き揚げてしまうメーカーもあります。これは信頼関係を築くことにはできません。

神田 相談役は30年前に、中国にパートナーとなる会社を見つけられました。新社長としては、今後将来を見据えた、さらなるグローバル化の拡大などはお考えですか。



鑄物師として津田家が東大寺大仏建立に関わったとされる資料が今も現存します

聞き手



(公財) 奈良県地域産業振興センター
奈良県事業承継ネットワーク事務局
ブロックコーディネーター

神田 佳和氏



鑄造工程は安全確認を行いつつ複数人で作業を行います

会社の強みと「五位堂鑄物」の復活について

神田 御社の経営理念や、他社と比べての強みについても教えてください。

津田相談役 経営理念としては、「受け継ぐべき伝統」「鉄を通じた社会貢献」「お客様の理想の具現化」の3つを掲げています。これらを通して、お客様のニーズに敏感に 대응して、変えるべきことを変えていく。これに尽きると思います。

また、強みと呼べるかは分かりませんが、我々は手間のかかる仕事、技術力のいる仕事も、積極的に受注しています。そういう仕事をしつかりこなしていれば、安易に価格競争に巻き込まれることもありませんから。

神田 そういう取り組みが、クライアントの信頼につながっているんだと思います。

他方、業界全体で見ますと、鑄造業を営む会社は減少傾向にあります。

津田相談役 我々のような鑄物製造会社は、昭和の中ごろは日本で2700社ほどありましたが、今はその1/3程度。それでも、まだまだすぎるといのが現状です。

津田社長 戦後の高度成長期は鉄の需要もかなり上り、当時は職人さんが独立し、起業されるケースも多かったと聞いています。ただその後、海外の鑄造所に流れる仕事も増えて、業界全体が縮小してきたことだと思います。

神田 そのような中、御社でチャレンジされ



鑄造業界に新たな熱を加えるべく、事業を受け継いだ津田新社長

ていることについてお聞かせください。

津田社長 2つありまして、まずひとつは、新しい材質の開発です。例えば、通常の鉄は、一定以上の温度で使用していると、ひずみなどの不具合が起きます。しかし、高温環境でも使用可能な製品の要望があり、それはすでに完成して商品化しています。もうひとつは、お皿やフライパン、鍋敷きなどの、民生品の開発です。私どもには奈良時代からの歴史があり、農機具などを鑄造していた戦前戦後は「五位堂鑄物」という名称で、ブランドにもなっていたと聞いています。現在は工業製品に特化していますが、この「五位堂鑄物」をみなさんに知っていただくことで、地域活性にもつながりたいと考えています。

神田 BtoCによる新たな販路が、地域の活性にもつながるといふことですね。鑄物の民生品では岩手県の「南部鉄器」などが有名ですが、「五位堂鑄物」もぜひ広めていただければと思います。

きる会社でありたいと思っています。

神田 先ほどのお話にあった「五位堂鑄物」の民生品も、大きな変化のひとつだと思います。

津田社長 鑄物の利点のひとつとして、複雑な形状にも対応できることがあります。まだ開発段階ではありますが、百貨店などでの販売のほか、「家紋を入れた鍋敷き」なども受注生産して、結婚式の引き出物などに使っているだけのように思っています。

神田 温度変化に強い鉄の特性を生かせば「冷たく冷やした刺身皿」なども考えられそうです。

津田社長 ずっしりとした鑄物の質量、「梨地」とよばれる、ザラザラとした独特の風合い。鑄物ならではの、材質を生かした商品が開発できればと思います。

神田 これからの鑄造業のあり方や「五位堂鑄物」の復活による地域の活性を考えた、素晴らしいアイデアだと思います。本日はお忙しい中ありがとうございます。



新社長が考案した皿をはじめ地域活性を目指して民生品づくりにも取り組み中。現在、クラウドファンディングにも挑戦しています。
URL : <https://camp-fire.jp/projects/311553/preview?token=1a7tloir>



業態変革も見据え次世代に事業を継承した津田相談役

津田社長 販路の拡大は、私が新たに始めたことではなく、相談役も取り組んできたことです。以前はほぼ、船のエンジンの部品だけを鑄造していましたが、それでは造船業の景気が左右されてしまうので、現在は建設機械、工作機械などの部品も鑄造しています。私もその流れを引き継いで、新たな分野にも、積極的に目を向けていきたいと思っています。

新しい感覚であらゆる変化に対応したい

神田 津田相談役は今年2月、事業をこ子息に承継されました。新社長への思いなどを聞かせてください。

津田相談役 長く続いた会社ですし、これからも継続することを大切にしてほしいと思っています。ただ、業態は昔からどんどん変わっていますし、そこは柔軟になる必要があります。

五位堂工業株式会社



精度の高い工業製品の鑄造から加工完成までをこなす、鑄物製造会社。鑄物の海外調達も含め、幅広いニーズに対応する

代表取締役 / 津田 家仁
本社 / 香芝市五位堂4-355-1
葛城工場 / 御所市大字城山台166-24
TEL / 0745-66-2371
設立 / 昭和37年(1962年)
資本金 / 1,000万円
従業員数 / 32名
URL / <https://www.goidou.jp>

「令和の掘立柱工法」で 木造建築に新たな風を

興福寺の中金堂再建や、平城宮跡の大極殿復原。瀧川寺社建築は、そのような全国的なニュースになった大事業にも関わる宮大工集団です。国宝・重要文化財(以下「重文」)の建造物の修復から賽銭箱の修理まで、確かな技術で、あらゆるニーズに対応しています。

「御用聞き」が職人の技術の向上につながる

宮大工とは、平城宮跡などの宮殿建築や社寺などの伝統的な木造建造物の建立・修復を手掛ける「大工」の事を言います。釘や金物を使わずに木材を組み上げる「木組」、寸法を部材の割合で表す「木割り」、曲尺を駆使して寸法や形状を割り付ける「規矩術」などに精通し、木材を現場で加工できる、高度な技術が求められます。

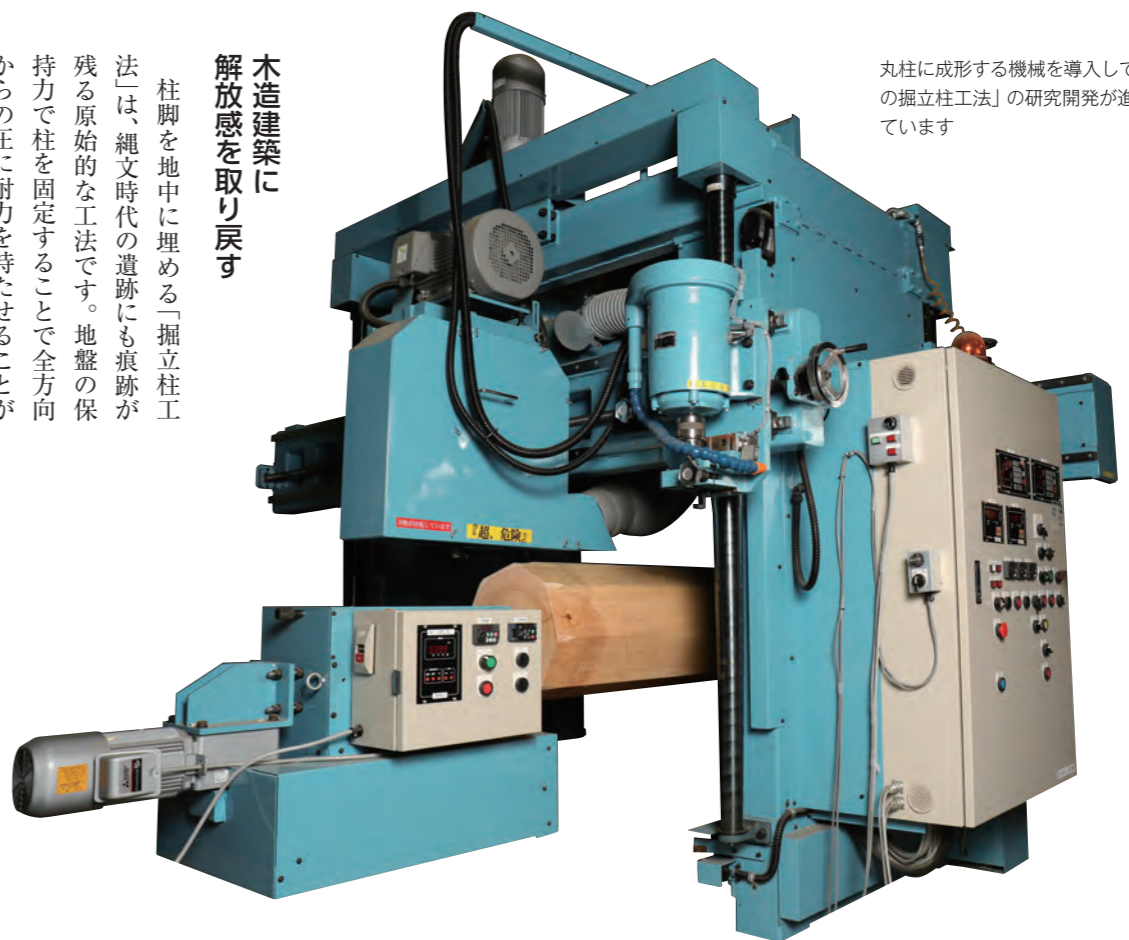
瀧川寺社建築は明治時代に瀧川伸社長(曾祖父・菊松さんが大工として始め、その次男・卯治郎さんと続き、1992年に父で三代目の瀧川昭雄さん(現会長)が法人化した会社です。平成に入って平城宮跡朱雀門や大極殿正殿、法隆寺の百済観音堂、記憶に新しい興福寺中金堂の大型木造建築の復原工事、国宝室生寺五重塔や総本山長谷寺本堂の災害復旧工事など奈良

における大掛かりな木造建築事業の殆どを手掛けてきました。10年前に代表取締役として会社を引き継いだ瀧川社長は言う。

「当社は大きな物件ばかりを手掛けるように思われがちですが、代々の引継ぎ事項は「お寺や神社の御用聞きにあります」と。「地震・台風などの自然災害、そして建物の老朽化。その都度ご相談を受けては最適な対処方法をその場で提案する。そんな経験が建造物の理解につながり職人を育てるんです。」そうして培われる確かな技術が、県内外の有名社寺からの信頼につながっています。

また、普段から国宝・重文に指定される建造物に触れているだけに、その強度や耐震性についての造詣も深く、独自の工法で特許も取得しています。そのひとつが、大径の丸柱を使った「令和の掘立柱工法」です。

丸柱に成形する機械を導入して「令和の掘立柱工法」の研究開発が進められています



株式会社瀧川寺社建築

代表取締役 瀧川伸氏

木造建築に解放感を取り戻す

柱脚を地中に埋める「掘立柱工法」は、縄文時代の遺跡にも痕跡が残る原始的な工法です。地盤の保持力で柱を固定することで全方向からの圧に耐力を持たせることが

が期待され、更には耐力壁とは異なり太い柱で全方向に対応するため、平面状X軸とY軸に分散して考える必要があります。

林業も含めた業界全体の活性化のために

日本の木材産業は内地材は高価で供給量が少ないと思われがちですが、山では杉や松は近年需要が無く、柱や土台にするための直径25cmぐらいの木が伐採の旬を逃し30cmを超える大径木が滞り、山の植林木の循環が悪くなっています。せっかくなので間伐や枝打ちの手入れの行き届いた杉材が伐採切り出し費用を下回る低価格になってしまおうのが実情です。当社が開発を進める「令和の掘立柱工法」が広まれば林業にもいい影響が期待できます。

瀧川社長が特に好きな建造物は「長谷寺の本坊」。大正13年(1919)の再建で、大講堂、庫裏、小書院などが集まり、近代建築らしい合理性を取り入れつつ伝統を熟知した、当時の職人の技術の粋が集まっています。「複数の建造物を連結させながらも、全体としてまったく違和感がない。ここには、私たちが求めるほとんどの要素が詰まっている」と瀧川社長。今も、設計に行き詰つ



古来より宮大工が使用していたとされる槍鉋



工場には「令和の掘立柱工法」の研究開発で用いられる丸柱が並んでいます

合理性と伝統の融合で新たな工法を生み出す瀧川社長



できますが、その反面、埋設部分と地表面の境界、つまり湿度が高く空気に触れる部分での腐食が課題でした。「令和の掘立柱工法」は、柱脚の埋設部分との境界をステンレスで覆い、基礎の中に設置した受金物に納めてモルタルで固める工法です。埋める深さは柱の直径と同程度で十分な耐力が得られる上、柱脚の金物に球型ダボピンを付ければ、さらに施工精度を増すこともできます。後にメンテナンスが必要になれば、モルタルを割ることで、柱を簡単に抜き出すことができます。特に鳥居は、礎石の上に自立させることはできませんから、この工法は有効です。2019年に完成した榎原神宮の鳥居修築工事でも、この工法が採用されました。

また、この技術は鳥居に限らず、一般家屋を含めた木造建築全般に応用することもできます。「阪神淡路大震災以降の木造建築は、壁面に耐震性能を求めるあまり、伝統的な木造建築の良さである開放



奈良県森林技術センターにて直径36cmの榎柱の実物大実験

感が失われています」と瀧川社長。この工法で太い柱に十分な耐震性を持たせることができれば、空間の自由度が増し、明るく開放的な木造家屋の設計が可能になります。その上で必要となるのが、建築基準法に適合させる工法の開発です。

現在の日本農林規格(JAS)の設計基準強度は木造住宅などの大量消費木材を主流に設けています。大径丸柱の強度基準は「無等級材」というその他事項に該当するため、実際の強度よりもかなり低い範囲に属しています。瀧川寺社建築では、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)を活用し、大径丸柱を使った掘立柱工法の強度測定などの研究開発を行っています。その実験結果では条件によっては、現状の木造建築の軸組み工法とは次元の違うレベルでの水平耐力

株式会社瀧川寺社建築



賽銭箱のような小さなものから大極殿復原などの大事業まで、あらゆる木造建築を設計施工する宮大工集団。その高い技術は、国内のみならず、海外からも高い評価を受けています

代表取締役/瀧川伸
本社/桜井市忍阪1278
TEL/0744-43-1383
設立/1992年
資本金/2,000万円
従業員数/20名
URL/http://takigawa-jisha.sakura.ne.jp

木谷ワイン 代表 木谷一登 氏



「生まれ育った奈良の風土を、ワインという形で表現したい」。木谷一登さんは、そんな思いでブドウの栽培・ワイン造りに取り組む醸造家です。まだ独自の醸造所はありませんが、近隣府県のワイナリーを間借りし、丹精込めて育てたブドウを使った、個性豊かなワインを醸しています。

奈良県のワイン産業を確立させるために邁進している木谷代表

「ビジコン奈良2019」で最高賞の知事賞を受賞するなど、高い評価を得ています。

目指すは農家との Win-Win の関係

「ワイン造りは、アートであり、クラフトであり、サイエンスの結晶でもあるんです」と木谷さん。まったくの未経験から始め、今では県内外に11反(約一万㎡)の畑を持ち、約20品種ものブドウを栽培しています。「作付面積も、ワインの品質に影響するんです。出来れば今の倍くらいまで増やしたい」と、畑は今後も広げたい考えです。

また木谷ワインでは、ブドウ農家ごとの、オリジナルワインの醸造も行っています。ワイン造りは通常、ワイン用のぶどうを使い、ワイン用のブドウは生食用と比べると、皮が厚く、その分果肉に果汁が集中しているなどの違いがあります。生食用ブドウをワインにしても、イチゴのようなさわやかな香りに仕上がり、個性的なワインができます。「完成したワインは私も販売しますが、ぶどう農家が必要な分を引き取り、直売されることもあります。お互いのリスタを減らした、Win-Win の関係を続けられれば」。

近年は天候不順などもあり、廃業してしまうブドウ農家もありま



収穫シーズンになると奈良の風土に適した大粒の風味豊かなぶどうが農園に実ります



ワインラベルはデザイン業に従事している木谷代表のお姉さんが作成しました

「奈良の風土をワインで表現したい」 県内初のワイナリー設立を目指す

独創的な取組で「ビジコン奈良」の知事賞を受賞

「ワインは土壌や気候など、その土地の風土を写します。奈良には、ワイナリーが無い。つまり、まだ誰も奈良のワインの味を知らないんです」と話す木谷一登さん。天理市石上町などいくつかの畑でワイン用のブドウを栽培し、こだわりのワインを醸造しています。同じ品種のブドウでも、畑が違えば、まったく性格の違うワインに仕上がるそうです。

木谷さんがワインに興味を持ったのは、学生時代に旅先で試飲した「貴腐ワイン」がきっかけでした。貴腐ワインとは、特別な条件下でしか生産できない「貴腐ブドウ」で造る希少なワインのこと。味は極甘口で、最近流行りのさっぱりとした辛口ワインとは異なり、濃厚な風味があります。木谷さんは「これまで飲んだことのない味で、ワインの奥深さを知った瞬間でした」と振り返ります。

昔から独立志向が強かったという木谷さん。大学卒業後は銀行に就職しますが、すぐに転職を考えます。木谷さんがその土地を引き継ぐことで、耕作放棄地を減らし、またオリジナルワインの生産すること、地域のブドウ農家を守ることにつなげたい考えです。

豊かなワイン文化は 色々な味が楽しめる

ワインを造り始めて3年、まだまだ手探り状態と話す木谷さん。当面の目標は、奈良県内で、自前の醸造所を持つことです。「今はまだ他府県のワイナリーを借りて醸造しているのが、本当の意味で、奈良のワイン」と言えません。自前の醸造所で発酵時間や温度も思い通りにできれば、10年、20年と熟成さ

るようになります。「何をやるにもまずは営業スキルが必要と考えて就職しましたが、自分が良いと思えない商品を人に薦めることができなくて。まったく向いていませんでした」。そんな時、取引先でもあったワイナリーを見学する機会があり、改めて、ワイン造りに惹かれるようになりました。

結局、その思いを捨てきれず、2016年に銀行を退職。そこから2年間、大阪府柏原市のワイナリーで、ワイン造りを学びました。2018年からは「木谷ワイン」の名で、奈良で育てたブドウでワインを醸造しています。まだ十分な知名度はありませんが、「奈良の風土をワインに表現する」という独自の取り組みは、地方創生をテーマにした

せるワインも設計してみたい」と、目を輝かせます。

最近では全国に、個人経営のワイナリーが増えています。奈良は日照時間が短く、気候も温暖な上、広い農地確保が難しいなど、必ずしもワイン造りに適した土地とは言えないそうです。それでも木谷さんは、奈良でのワイン造りにこだわります。「私は評価日本一のワインを造りたいわけではありません。日本各地のワイナリーが、それぞれの思うワインを造り、お客さまは、好みや気分でその日のワインを選べる。そここそが、ワイナリーが増える、一番のメリットではないでしょうか」。奈良の風土をワインで表現するというその試みは、まだ始まったばかりです。

木谷ワイン



天理市石上町などで栽培するブドウでワインを醸造。商品はホームページのほか、県内の一部の酒屋などで購入できます

代表社員/木谷一登
本社/奈良県香芝市畑4-660-1
TEL/080-3795-1989
設立/2018年
従業員数/1名
URL/https://narawine.com



奈良の風土を感じさせる味わいのワイン

後継者にスムーズなバトンタッチを実現する為に
事業承継の支援企業が増加しています
 あなたの企業の様々な承継課題に対応します

後継者に安心できる事業承継を！
 (経営者保証解除支援をご活用ください)

経営者保証が原因で事業承継ができない企業が増加しています！
 ガイドラインに照らし要件を満たすことで経営者保証解除が可能です！

奈良県事業承継ネットワークは経営者保証解除の支援を致します！

- ◆『経営者保証に関するガイドライン』の確認をサポートします
- ◆金融機関と目線合わせをし、保証解除をサポートします
- ◆事業承継時経営者保証を不要とする新たな貸し付けをサポートします
 (事業承継特別保証制度の活用が可能です)
- ◆専門家(経営者保証コーディネーター等)の支援が可能です

奈良県事業承継ネットワークは事業引継ぎ支援センターと統合し
 ワンストップ化と体制の強化を図り企業支援の充実を目指します

内容:事業承継支援は事業承継ネットワークと事業引継ぎ支援センターとに分かれて活動してきましたが、中小企業成長促進法改正を受け、令和3年度より統合し、「支援のワンストップ化と体制の強化」により総合的に、力強く進めるよう取り組みます。

奈良県事業承継・引継ぎ支援センター(実施機関:奈良商工会議所)

事業承継ネットワーク

- ◎気づきの機会の提供(事業承継診断)
- ◎専門家派遣による経営改善
- ◎セミナーの実施
- ◎経営者保証解除に向けた専門家支援等
- ◎主に親族内承継を支援

※(公財)奈良県地域産業振興センター内

事業引継ぎ支援センター

現行の「認定支援機関」(法第134条)

- ◎M&A・マッチング支援
- ◎金融機関・仲介業者への引継ぎ等
- ◎第三者承継を支援

※奈良商工会議所内

統合

令和3年
 4月1日
 開始

事業承継全般に係る助言・支援が可能に
 奈良県事業承継・引継ぎ支援センター TEL:0742-93-8815



奈良県事業承継ネットワーク
 事務局メンバー

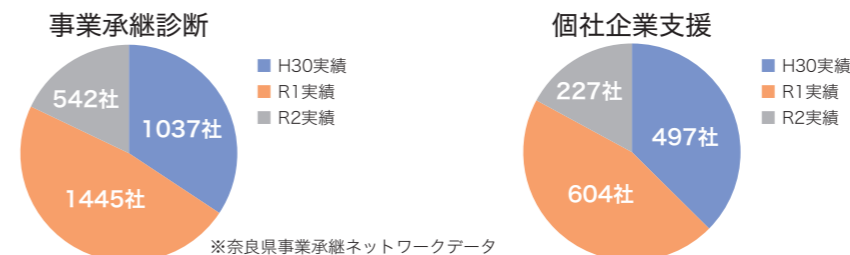
無料で様々な支援を行っています！
 お気軽にご相談ください！

お問い合わせ 奈良県事業承継ネットワーク事務局 (公財)奈良県地域産業振興センター TEL:0742-93-8815

3年間で事業承継の支援が着実に広がっています。
 あなたの企業の事業承継は進んでいますか？

	H30年実績	R1年実績	R2年/11月	累計実績
事業承継診断件数	1037	1445	542	3024
個社企業支援件数	497	604	227	1328

※令和2年度 全国知事会にて事業承継ベストプラクティス受賞



事業承継支援の内容 伴走型で企業の円滑な事業承継を丁寧に支援します！

- 1) 事業承継計画書作成支援
 後継者へ引き継ぎ時の課題整理
 承継推進計画策定、見える化計画策定
 具体的な推進サポート
- 2) 株をはじめ資産の整理・承継支援
 特例税制活用支援、株の集結支援
 資産の適切な管理支援
- 3) 経営体質強化支援
 事業承継補助金取得支援
 後継者へ引き継ぎ後、成長戦略支援
 販路拡大、ものづくり体質強化、財務体質強化支援
 ※適時中小企業診断士・士業専門家と連携
- 4) 第三者承継・M&A等支援
 後継者不在⇒後継者育成・募集・選出
 M&A企業の選定適切な条件交渉対応

あなたも「SG NARA」に参加しませんか！

コロナ禍でも6月からWeb会議でツキイチSGを
 毎月20~25名の参加を得て開催してきました

SG NARAとは「Sustainable Generation」(持続可能な世代交代)を表し、世々代々を生きる歴史的存在に目覚めた人々が、良心の経営を目指し、地域創生、社会創生に取り組む輪を広げようとする手携えプロジェクトです！
 令和2年2月19日にキックオフセミナーを経て発足し、コロナ禍でも「ツキイチSG」としてWebでミーティングを開催しています。コロナ禍で厳しい経営環境に負けない思いの共有やマルシェなど地域連帯の行事にも広がりを見せています。後継者の皆さま、金融機関や奈良に思いのある皆さま、ぜひご参加ください。
 発起人: (株)アクラム勝谷社長、(代表)、梅乃宿酒造(株)吉田社長、(株)高木包装高木社長、(株)ミナミシマ自動車販売南島社長、合同会社ヴァレイ谷代表。あなたのご参加をお待ちしています！



SGNARA Facebook
 をご確認ください

メイクならタイプ
 あなたの物語の創造



支援事例のご紹介

奈良県よろず支援拠点



よろず支援拠点とは
 よろず支援拠点は、国が各都道府県に設置した経営相談所で、「何でも」「何回でも」「無料で」「利用いただけるのが特長です。当拠点では、「創業から事業承継まで」を合言葉に、さまざまな専門分野に対応する15名のコーディネーター（以下、「CO」という。）が、相談者に寄り添った伴走型の支援を実施しています。今回は、当拠点で支援した事例を紹介します。

株式会社PORTEARTH
 株式会社PORTEARTH（ポトアース 本社：奈良県橿原市、代表取締役社長：北村渉氏）は、2004年に創業、2014年に法人設立した会社です。ECサイトを通じた小売を主業としており、特に米AmazonやeBayなど、海外ECサイトで日本の優れた商品を海外に



料理の油分をカットする「カロリカ」

販売することを得意としています。事業は順調に成長し、2016年には、料理の油分を自然にカットする磁器皿「カロリカ」の開発製造という新しい事業にもチャレンジしています。

同社の特長は、2004年の創業時からECに携わってきたという経験です。北村社長は、現在も、自身で商品の目利きと販売を実施しており「海外で売れる商品」を肌感覚で理解しています。また、ECサイトの運営業務を自動化しているのも特長です。ECサイトの運営は、商品の出品・注文の受付・在庫管理・配送手続き・商品の発送など、さまざまな作業がありますが、同社はそれらの作業を自動化する独自のシステムを開発し、これにより人手のかからないサイト

奈良県よろず支援拠点（以下、「当拠点」という。）では、事業者のみならず、対して経営相談を行っています。今回は、当拠点の支援事例をご紹介します。

運営を実現しました。北村社長はこのシステムの販売について当拠点へ相談に求められました。

支援1…ビジネスモデルの設定

相談対応したCOは、システムの説明を聞き、非常に実践的で魅力的なシステムであると感じました。その一方で、システム販売は、システムの使いやすさやサポート体制など、周辺業務の負担が大きく、同社の人数で大手システム会社に対抗するのは大変であると考えました。そのうえで、同社の強みを活かすには、システム販売よりもEC販売のコンサルティンクとアウトソーシングサービスという事業形態が有効であると判断しました。この提案に北村社長も賛同されたことから、新しい事業の実施に向けて動き出しました。

支援2…「ビジコン奈良」の応募

まず、県内での認知度を高めるため、奈良県が実施する「ビジコン奈良2020」に応募することにしました。北村社長は、長年にわたる海外ECサイト運営を通じて、海外の人た

ちに日本製品のすばらしさが伝わっていないことがもったいないと感じていました。そのため、「Japan Rises Again（日はまた昇る）」というビジョンを掲げ、「日本製品・日本のものづくりのすばらしさを、海外EC販売を通じて広めること」を事業目的に決めました。そして、サービス内容・料金体系・運営体制などを整理し、事業計画書にまとめました。その結果、見事ファイナリストとなり、県内での認知度を高めることができました。

支援3…システム開発

次に、同社の要となるシステムについて、COが協力してロードマッ



ビジコン奈良での発表の様子

プを作成し、他社システムにはないユニークな機能を優先して開発することにしました。また、システム開発にあたっては開発費用を抑えるために補助金の活用を提案し、申請支援を行いました。その結果、「ものづくり補助金」に採択され、開発費用を抑えながらシステムの機能拡張が実現しました。同社システムの機能は最前線でECサイトの運営を行っている北村社長ならではの考えが盛り込まれています。



PORTEARTHが開発したシステム

成果…伝統企業の海外EC売上アップに貢献！

株式会社呉竹（以下、「呉竹」という。）は、墨・書道用具・文具等を製造販売する、奈良県を代表する伝統企業です。北村社長のノウハウ・システムと、呉竹担当者の情熱が融合し、一丸となってECサイトを通じた海外展開を進めました。米Amazonを中心にブランドコントロールを行い、海外ECサイト売上は対前年で倍増という成果が出ました。いまや「Kuretake」の名は、世界中にファンがいるグローバルブランドに成長しています。このように、奈良県の伝統産業が、海外ECサイトを通じて、全世界に広まっているのです。

その他、北村社長のもとには、靴下や履物のメーカーから問い合わせがあるなど、新事業の成果は着実に出ています。



北村社長(左)と担当CO

経営のことでお悩みのことがありましたら、当拠点にお気軽にご相談ください。奈良市の相談窓口の他に、大和高田市・橿原市の出張相談、テレビ会議システムによるリモート相談も実施しております。お申込みは、電話またはホームページにて受け付けております。

奈良県よろず支援拠点の各拠点紹介

公益財団法人
奈良県地域産業振興センター

柏木本部

☎ 0742-81-3840

- 相談時間 8:30~17:15(土・日・祝を除く)
- 相談場所 〒630-8031 奈良県奈良市柏木町129-1 (公財)奈良県地域産業振興センター内

近鉄奈良駅前 サテライトオフィス

☎ 0742-81-3546

- 相談時間 9:30~19:00(日・祝を除く)
- 相談場所 〒630-8241 奈良県奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル3階

大和高田出張相談所

完全予約制 ☎0742-81-3546 (近鉄奈良駅前サテライトオフィス)

- 相談日 毎週水曜日 10:00~15:00(但し祝日を除く)
- 相談場所 〒635-0015 奈良県大和高田市幸町2-33 奈良県産業会館2階

橿原出張相談所

完全予約制 ☎0742-81-3546 (近鉄奈良駅前サテライトオフィス)

- 相談日 毎月第1・第4水曜日 10:00~15:00(但し祝日を除く)
- 相談場所 〒634-0003 奈良県橿原市常盤町605-5 奈良県橿原総合庁舎3F301会議室

新型コロナウイルス感染症対策における

県内中小企業の取組事例紹介 ガラス彫刻工房ONO(株式会社C's)

尾野 貴昭社長



高校球児に向けた出場記念グラスがクラウドファンディングの予算枠を達成し、無事作成に至りました

新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナウイルス」という。)の猛威が世界的に続くなか、日本においてもその影響は続き、働き方や生活習慣さえも大きく変化しています。県内中小企業には引き続き感染予防・拡大防止の取り組みやアフターコロナを見据えた新たな業態への挑戦などにより、売上を回復させる取り組みが求められています。そのような中、新型コロナウイルス対策に工夫を凝らして現状の打開を試みている県内企業の事例をご紹介します。

各種記念日の贈答品を提供。特に出産祝の「名人乳哺乳瓶」が人気です。またウェルカムボードやエンディングプレートなどの特徴的な製品の受注実績も多く、有名ロックフェスの記念グッズや企業のノベルティグッズも手掛けています。「世界に一つだけの贈り物と感動を届ける」を経営理念に持つ同社は、幅広い層に多くの販売実績を築き、製品のファンとなる固定客も多いそうです。

新型コロナウイルスで状況は一変。苦境からの挑戦

順調に売上を伸ばしてきた同社ですが、新型コロナウイルスによって贈答の機会(場面)が激減したり、イベントが中止になったりと、売上は当初予定の1/4ほどにまで落ち込み、もちろん前年実績も大きく割り込む事態となりました。突然の苦境に陥る中で、同社の尾野社長を突き動かした哲学が「自分が困っている今だからこそ誰かを助ける」というものです。そこには何かの打算や目算があったわけではなく「何かをやらなければ」という一念だけ

だったといえます。ちょうど高校野球の夏の甲子園大会の中止が決まった頃で、失意の高校球児に「あの時、大人に助けてもらった記憶」を残して欲しいと想い、出場記念グラスを贈呈するクラウドファンディング(以下「CF」という。)を急遽立ち上げました。この尾野社長の気持ちに賛同する人たちが次々と現われ、結果は見事に予算枠を達成。CFの担当者からも「この結果には正直驚いています」との感想をもらうほどの成功となりました。

新型コロナウイルスで知った絆の力でさらなる飛躍を

尾野社長が投げた一石が多くの人々の心を動かし、これを契機にビジネスの枠も拡がりつつあります。阪神タイガースのファンクラブグッズや、読売巨人軍坂本選手との2000本安打記念品、ヴィッセル神戸のイニエスタ選手の記念品採用など、立て続けにノベルティグッズの受注も決まり、早くも次年度の商品選定の話も進んでいるといえます。売上も一気に回復基調に乗りだしたところに中小企業

庁のビジネスモデル構築事業として展開されている「首都未来イノベーション」から支援対象企業としてサポートを受け、現在は効率化と生産性アップに向けた受注顧客製造納品までの一括システム運営を設計中です。新型コロナウイルスで大きく環境が変わりましたが、同社の経営理念は変わりません。コロナ禍だからこそ知れた「人が繋がる、絆の力」で、さらに「一つだけ」の感動を生む作品づくりに挑む同社の今後に注目です。



設備投資の公的サポート 設備貸与制度

お気軽にご相談ください。

設備貸与制度は、奈良県内で創業や経営の革新に取り組む小規模事業者等の設備投資を資金面で支援する制度で、必要な設備を当財団が購入し、長期かつ固定金利で貸与(割賦販売またはリース)するものです。設備導入・更新の際は、当制度をぜひご利用ください。

制度の概要

	割賦販売	リース
利用限度額	100万円以上 1億円以下(消費税込)	
償還期間	最長10年以内	3~10年
割賦損料率・リース料率	年利率 1.3% (固定)	3年 2.926% 7年 1.333% 4年 2.231% 8年 1.181% 5年 1.808% 9年 1.065% 6年 1.533% 10年 0.972%
返済方法	半年払	毎月均等払
保証金	契約時、設備価格の10%	不要
連帯保証人・不動産担保	原則として不要ですが、法人の場合は代表者を連帯保証人とします。また審査等により追加の連帯保証人もしくは担保が必要となる場合があります。	

活用事例

【割賦販売】

貸与年度 令和2年度
事業者名 金剛産業株式会社
主な事業 鋼構造物製造加工業
貸与設備 高精度高速H形鋼開先加工機
貸与規模 1,000万円~3,000万円

社長の声

本年度は、設備貸与制度を利用して開先加工機を導入しました。鉄骨業界では必須である高度な品質・精度が求められる時代となりお客様のニーズに、より一層応える事ができ、生産性もアップしました。弊社は、鉄骨H形鋼の一次加工生産能力は県下最大の規模を誇り技術力・高品質な製品をお客様及び建築業界に送り出し時代にあった商品を提供し続ける事が企業としての使命と考えています。未来を見据え、日本の技術力を基本に、グローバル化を視野に入れ日々成長発展を目指しております。



工場全体風景



高精度高速H形鋼開先加工機



開先加工後の仕上がり

設備貸与制度の「ここがポイント！」

- 金融機関の借入枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できる公的金融制度です。
- 割賦販売で設備を導入すれば、当財団に所有権を留保したまま減価償却を行うことが可能です。
- 商工会、商工会議所を経由してお申し込みになれば、償還期間を延ばすことも可能です。

詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ

金融課 (公財)奈良県地域産業振興センター TEL : 0742-36-8311

お問い合わせ

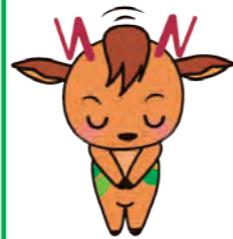
よろず支援拠点 ((公財)奈良県地域産業振興センター) TEL : 0742-81-3840
ガラス彫刻工房ONO TEL : 0745-47-1478 <https://www.ono-gift.com>

2020年度

中小企業・小規模事業者の皆さまへ

総合相談窓口のご案内

- ✓ 平日昼間の相談は、事前申込なしで随時開催しています！
- ✓ 便利な**休日・夜間**の開催もございます！
※休日・夜間の相談会は、**事前申込制**とさせていただきます。
「休日・夜間相談申込書」をご提出ください。
- ✓ ご相談は、**無料**です！



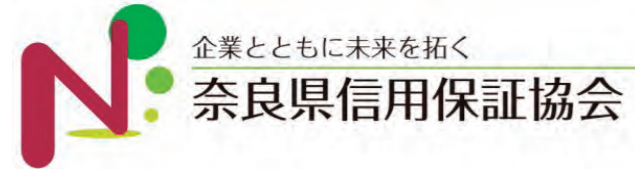
奈良県内で、
✓ 創業をお考え中
✓ 新事業展開を相談したい
✓ 経営改善に取り組んでいる
など、経営に関する事なら
あらゆるご相談をお受けします。



開催場所	本店	奈良市法蓮町163-2
	高田支店	大和高田市幸町2-33 (奈良県産業会館内)
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・創業に関する相談 (創業計画の作成方法) ・経営課題に関する相談 ・事業承継に関する相談 ・金融相談 ・金融機関紹介 <p style="text-align: right;">など</p>	

平日昼間の相談窓口は 8:30~16:30 となります。
※休日・夜間の相談に限り事前申込のない方につきましては、
当日お越しになられても対応できませんので、予めご了承ください。

【お問合せ先】



総務企画部 ☎0742-33-0551
【ホームページ】 <http://www.nara-cgc.or.jp>



協会HPはこちらから！
お知らせにて最新情報を
掲載しています。

奈良県信用保証協会
マスコットキャラクター
「ほしよまる」



私たちは、地元中小企業のみなさまと一緒に成長したい。
事業資金等のご相談は
ならしんへ
奈良信用金庫
本店：大和郡山市南郡山町529番地の6
TEL：0743-54-3111
URL：<https://www.narashin.co.jp>

地域のお客様を最優先とし、地元から愛される
地元密着型のスタイルを推し進めてまいります！

事業資金等のご相談は「やましん」へ
大和信用金庫
YAMATO
本店 奈良県桜井市桜井 281-11
TEL 0744-42-9001 (代表)
<https://www.yamato-shinkin.co.jp/>

地元中小企業のみなさまの
いちばんのサポーターでありたい

事業資金、各種助成金制度等のご相談は、ぜひ「ちゅうしん」へ
奈良中央信用金庫
〒636-0398 磯城郡田原本町132-10
TEL：0744-33-3311(代) FAX：0744-33-3801
URL：<http://www.narachuo-shinkinbank.co.jp>

生み出せ南都。

お客さまと未来をつくる



活力創造銀行
NANTO 南都銀行

ご相談は地域産業振興センターへ

公益財団法人 奈良県地域産業振興センター

〒630-8031 奈良県奈良市柏木町129-1
TEL 0742-36-8312 FAX 0742-36-4010
<https://www.nara-sangyoshinko.or.jp/>

交通・アクセスご案内

- 電車 近鉄橿原線「西ノ京駅」下車、東へ徒歩20分。
- バス 「近鉄奈良駅」より「恋の窪町行」乗車20分、
「柏木町南」バス停下車、西へ徒歩5分。
- 自動車 国道24号柏木町交差点を西折、1つ目の信号を右折。

